

背景について

市区町村が実施するがん検診（以下「市区町村がん検診」）の受診状況等については、「地域保健・老人保健事業報告」（平成20年度から「地域保健・健康増進事業報告」）により毎年公表されている。

一方で、がん検診受診率の分母となる「対象者数」について、各市区町村がそれぞれ独自の考え方により設定しており、このため、複数の市区町村のがん検診受診率を同一基準で比較・評価することができなかった。

このため、厚生労働省に設置された「がん検診事業の評価に関する委員会」において専門家による検討を行い、市区町村がん検診の受診率を比較・評価するために用いる「対象者数」の統一的な考え方が、同委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（平成20年3月）において提案された。

今回の算出について

この度、同報告書の提案を踏まえ、以下の方法により「推計対象者数」の算出をおこなうとともに、「推計対象者数」を用いた平成18年度のがん検診受診率を、全市区町村について算出したところである。

平成19年度以降のがん検診受診率についても、引き続き同様の算出を行っていくこととする（別紙参照）。

- 受診率の分母は、上記報告書において提案された考え方を参考として、以下の方法により算出した。各係数には、「平成17年国勢調査」において報告された人数を用いた。

40歳以上（子宮がん検診は20歳以上）・男女ごとに、以下の計算式で算出した人数を「推計対象者数」とする。

各係数は直近の国勢調査において報告された人数を用いる。

$$\boxed{\begin{array}{c} \text{推 計} \\ \text{対象者数} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{c} \text{市区町村} \\ \text{人 口} \end{array}} - \left(\boxed{\begin{array}{c} \text{就業者数} \end{array}} - \boxed{\begin{array}{c} \text{農林水産業} \\ \text{従業者数} \end{array}} \right)$$

- 受診率の分子は、「平成18年度地域保健・老人保健事業報告」において報告された各種がん検診の受診者数とした。

(別紙) 使用する統計表

		分子（受診者数）の出典	分母（推計対象者数（①－②＋③））の出典		
		がん検診受診者数	① 市区町村人口	② 就業者数	③ 農林水産業従事者数
検 診 の 実施年度	平成 18 年度	平成 18 年度地域保健・老人保健事業報告 (公表済)	平成 17 年国勢調査〔平成 17 年 10 月 1 日現在〕 (公表済)		
	平成 19 年度	平成 19 年度地域保健・老人保健事業報告 (平成 20 年度末目途公表予定)			
	平成 20 年度	平成 20 年度地域保健・健康増進事業報告 (平成 21 年度末目途公表予定)			
	平成 21 年度	平成 21 年度地域保健・健康増進事業報告 (平成 22 年度末目途公表予定)			
	平成 22 年度	平成 22 年度地域保健・健康増進事業報告 (平成 23 年度末目途公表予定)	平成 22 年国勢調査〔平成 22 年 10 月 1 日現在〕 (平成 23 年度以降公表予定)		
	平成 23 年度	平成 23 年度地域保健・健康増進事業報告 (平成 24 年度末目途公表予定)			
	平成 24 年度	平成 24 年度地域保健・健康増進事業報告 (平成 25 年度末目途公表予定)			
	平成 25 年度	平成 25 年度地域保健・健康増進事業報告 (平成 26 年度末目途公表予定)			
	平成 26 年度	平成 26 年度地域保健・健康増進事業報告 (平成 27 年度末目途公表予定)			
	平成 27 年度	平成 27 年度地域保健・健康増進事業報告 (平成 28 年度末目途公表予定)	平成 27 年国勢調査〔平成 27 年 10 月 1 日現在〕 (平成 28 年度以降公表予定)		
	平成 28 年度	平成 28 年度地域保健・健康増進事業報告 (平成 29 年度末目途公表予定)			

※ 平成 19 年度以降については予定。